

税理士『法人税法』受験生必見! TAC受講生限定

～タックス・マインドを身につける～

品川 芳宣先生 特別講義

『税法と会計が交錯する現状と問題点』

税法のうち、法人税法は会計と最も親和性の高い税目です。

ところが、会計の考え方と法人税法の考え方との間には、さまざまな取扱いの差異があります。

これらに関する個別規定の取扱いについては、普段のカリキュラムの中で学習しているところですが、より高い視野に立って、その差異が生ずる原因や、今後の方向性について検討する機会はなかなかありません。

そこで今回TACでは、昨年に引き続き、租税法における第一人者で、会計についても大変に造詣が深い、

品川芳宣先生による特別講義を開催致します。

今後の学習にお役立ていただくために、ぜひ奮ってご参加ください。

Message

講演者 品川芳宣先生からのメッセージ

税理士の受験科目に「簿記論」と「財務諸表論」があることをどのように考えていますか。このような会計科目に合格しているが故に、「税理士は、税法と会計の専門家である」とも言われます。しかし、税法と会計との関係を正確に理解することは相当難しいことで多くの方が誤解しているようです。そこで、両者の関係の現状を易しく説明しますので、それを的確に理解し、将来、税理士として活躍する時の指針にいただければと思います。

このような方におすすめです

■法人税法の現受講生または受講経験がある方

※当特別講義の内容は、税理士受験のカリキュラム内容と直接の関係はありません。

講演内容

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ■トライアングル体制 | ■租税政策の原理 |
| ■法人税法上の会計規定 | ■法人税の課税根拠 |
| ■会計の本質 | ■「一般に公正妥当と認められる会計処理の基準」 |
| ■会計基準のコンバージェンス | ■確定決算基準とその行方 |
| ■中小企業会計の重要性 | |
| ■課税所得の決定要素 | |

全1回 平成24年4月28日(土)
18:00～19:30

■場所：TAC水道橋校(MCビル)

■対象：TAC税理士講座受講生限定

(当日は必ずTAC会員証をお持ちください)

- 予約不要・参加無料です。直接校舎へお越しください。なお、Web配信や欠席フォロー等はありませんので予めご了承ください。
- 参加者多数の場合は、別教室での同時放映となる場合がございます。



講演者 品川 芳宣 先生

筑波大学名誉教授 前早稲田大学大学院会計研究科教授

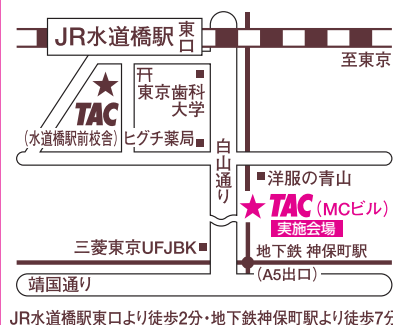
Profile

1968年 慶應義塾大学経済学部卒業、国税庁入庁後高松国税局長
1995年 筑波大学教授(大学院ビジネス科学研究科企業法学専攻担当)
2005年 筑波大学名誉教授、弁護士、早稲田大学教授
2011年 中小企業の会計に関する検討会 座長代理
公認会計士第三次試験、不動産鑑定士第二次試験、税理士試験等に合格

著 書：『課税所得と企業利益』(日税研究賞受賞 1983年)
『法人税の判例』(租税資料館賞受賞 1994年)
『役員報酬の税務事例研究』(2001年)
『附帯税の事例研究第三版』(日税研究奨励賞受賞 2002年)
『租税法主義と税務通達』(2003年)
『重要租税判決の実務研究・増補改訂版』(2005年)
『相続税財産評価の理論と実践』(2005年)等多数

水道橋校

〒101-0061 千代田区三崎町1-3-9
MCビル4F
☎ 03(3233)1400(代)



032-0903-1044-15 有効期限:2012年4月28日